

勇建設株式会社

所在地 北海道札幌市中央区北6条西14丁目4番地

従業員数 89人

事業内容 建設業

(令和7年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社のCSR行動憲章の1つである「社員一人ひとりが活力にあふれ意欲をもって働ける職場づくりを推進する」というCSR行動憲章の理念と合致し健康経営に取り組むことといたしました。当社を含め建設業界は高齢化に伴うベテラン技術者の退職、担い手不足という問題を抱えておりました。当社においても職員の高齢化に伴う健康面への配慮ということが喫緊の課題でした。健康経営に取り組むことにより職員自身の健康に対する意識改善が図られ、また、人生100年時代に対応する良好な健康状態を維持することができると考えました。仕事面においても、働きがい・働きやすさ・生産性の向上といったモチベーションアップ、組織の活性化にも繋がり、対人面においても企業ブランドイメージの向上に繋がると考え取り組むことといたしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

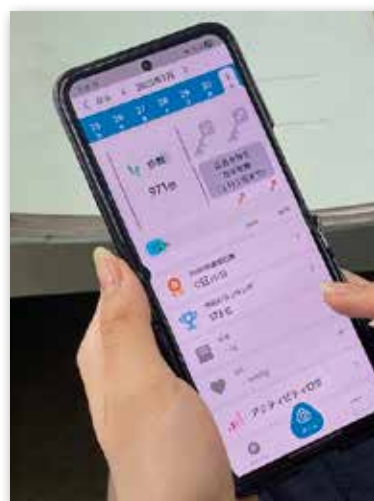
健康経営を推進するにあたり力を入れたものとして受動喫煙対策と運動機会の提供でした。会社としても職員の健康を第一に考え、社屋敷地内に独立した喫煙室を設置することで受動喫煙の防止を図り、完全分煙化をすることといたしました。喫煙室を社屋内から社屋外に移したことにより、社内の喫煙者、一人当たりの喫煙本数は減少しました。

また、土健保にて試行的に実施した「禁煙プログラム(みんなチャレ禁煙)」に当社の職員も参加し、現在も禁煙が継続している実績があります。

また、受動喫煙対策の他にも、会社として役職員へ運動機会の提供として、札幌市主催の「札幌ウォークチャレンジ」、土健保のウォーキングイベントへの参加を積極的に呼びかけ、職員同士で日々の歩数を競い合いそこで新たなコミュニケーションが生まれ、身体的な側面ばかりではなく内面的にも健康になってきているかと思われます。



本社敷地内に設置した喫煙室



ウォーキングアプリでの歩数確認風景

岩田地崎建設株式会社

所在地 北海道札幌市中央区北2条東17丁目2番地

従業員数 798人

事業内容 建設業

(令和5年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

従業員の平均年齢も上がってきており、定期健康診断やストレスチェックの結果を踏まえ、個人の健康に対する意識の向上と改善のため健康経営に取り組むようになりました。

企業が持続的な成長を続けていくためには従業員やその家族の健康保持増進、また安心して働ける職場環境の整備が欠かせないと考え、従業員のモチベーションや生産性のアップ、企業価値の向上に繋がるよう取り組みを続けています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康診断や人間ドックの受診率向上と、健康管理に対する意識付けを図るため、指定医療機関での受診費用全額負担、指定医療機関以外での受診費用補助を行っています。

更に、有所見者の二次健診費用補助を行うことで受診率の向上に繋がってきています。また禁煙外来治療費用補助を行い、禁煙の後押しをしています。

社内医務室に高気圧酸素室を設置し、体の免疫力を高めたり、疲労回復の為に利用しています。他には、毎日の朝礼時にケガ防止とリフレッシュを兼ねて、ラジオ体操を行っています。社内には運動系のサークル(野球・マラソン・サイクル・フットサル)もあり、従業員同士のコミュニケーションや体力の向上等、健康経営にも一役買っています。これらの長年続けている取り組みも健康経営に活かしていきたいと考えています。



体の免疫が高められる高気圧酸素室



マラソンサークル 2020 年秋

ホームページ

<https://www.iwatachizaki.jp/csr/csr/20241003.html>

道路建設株式会社

所在地 札幌市北区北7条西4丁目3番地1 新北海道ビル12階

従業員数 113人

事業内容 舗装及び一般土木工事

(令和5年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では従来から社員の健康に関心があったものの、健康経営についての具体的な取り組みを進めるまでには至っていませんでした。2020年に変わった経営トップの強い意向によって、健康経営の概念とリンクさせながら、社員の健康を向上させる様々な取り組みをスタートしました。

経営者にとって健康経営に取り組むことは自然な流れでした。「企業は人」であり、社員の健康は最も大切にしなければいけないことと認識しています。弊社では、社員が良い仕事をするためには心身ともに健康であるべきで、ウェルビーイングが向上することにより企業業績にも反映されると考えています。また、生産性の向上及び働き方改革を推進する上でも、健康経営に取り組むことは必要と考えています。

弊社は社員が創出する成果を最大化していくためにエンゲージメントを高めたいと考えていますが、大前提として社員が健康体で充実感をもって仕事に取り組んでもらうことが必要だと感じています。社員が心身共に健康だからこそ一体感が生まれる土台があり、チームワークが向上することで組織が強くなり、社員全員が楽しく仕事することで、お客様及び社員がそれぞれ幸せになれるよう、健康経営に全力で取り組んでいきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

「こころの健康づくり」に特に力を入れ、様々な取り組みを進めています。弊社では社内外にメンタルヘルス相談窓口を設置しており、社外の相談窓口は病院と公認心理士の2箇所です。相談者がセカンドオピニオンを求めた際にも対応できる体制を整えています。また、生活習慣が及ぼすメンタルヘルスへの影響について外部講師による研修を実施し、食生活、運動、睡眠の側面から「こころの健康」を見直す指導をしています。

2022年度より禁煙対策も強化し、非喫煙者には「非喫煙手当」を支給しています。同時に「禁煙治療費用補助金支給制度」を導入し、これにより禁煙を希望する社員が禁煙外来を受診する費用の自己負担がなくなります。非喫煙者へのインセンティブのみではなく、喫煙者へのサポートの両輪で禁煙対策を実施しています。

健康経営を続ける中で、社員の意識も変わってきました。「ベジチェック」をレンタルした際には興味津々、楽しんで体験したり、社員同士の運動サークルも活発に活動しています。社員は家族であり「どうしたら心身共に健康に、快活に過ごすことができるのか」を考え、改革を進めています。これからも「働きやすく働きがいのある会社」を目指します。



「ベジチェック」を
安全大会会場に
設置！



社内サークルには
会社からの費用補助あり！

ホームページ

https://www.douken.co.jp/system/health_management/

株式会社本田組

所在地 釧路市鳥取大通8丁目4番20号

従業員数 33人

事業内容 総合工事業（公共工事の請負を主とする土木工事業）

（令和6年7月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

あらゆる業界で人手不足が大きな課題となるなか、我々建設業においても人員の確保が最大の懸念材料となりました。

少子高齢化が進み労働人口が減少するなか、ICTの活用や海外からの労働力の獲得等にも取り組まなければならない状況ですが、企業経営にとって何より大事なものは、今現在雇用している全ての従業員が安心して、健康で長く働き続けることができる環境であり、それには、従業員の家族も健康でなければ仕事に専念することができないことから、家族を巻き込んだ健康管理の必要性・重要性に気付きました。また、個人面談での悩みの確認や相談を受けるなかで、心と身体の健康が何より大切な取組みだと再認識する機会があり、健康経営に取り組むことにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

年に一度の健康診断を受けるだけでなく、健康診断結果をもとに経営者・健康管理担当者から全職員に個別指導を行い、一人ひとり健康推進計画を立てて目標達成を目指すことで、自分自身の健康への関心が高まっていると思います。また、保険者からご提案をいただいた健康に対するアンケートを職員に回答していただくことにより、自己の健康管理における責任感が高まっていくことによって日々健康に対して気をつけて、改善意識の向上を図っていくことができています。（健康診断の活用）

代表者を務める私自身が超ヘビースモーカーでありましたが、煙草をやめて丸9年になります。社内も禁煙とし、少しずつ関与する形式で幹部職員からの説得等によりこれまで数名の従業員も禁煙に成功しています。（禁煙の促進）

今後は個人の健康推進計画への取組みに対して達成者にインセンティブを与える制度や家族の介護問題の支援にも取り組みたいと考えています。



安全大会における健康管理に対する注意喚起



経営者・健康管理担当者からの個別指導

ホームページ

<https://www.hondagumi.jp/category/blog>

寿建設株式会社

所在地 福島県福島市飯坂町平野字東地蔵田8番地の1

従業員数 80人

事業内容 土木工事業

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、過去に社員が同時期に私病により複数名リタイアするという事象が発生し、経営的にも貴重な人材を失う結果となったことをきっかけに、『健康維持の重要性』を改めて認識いたしました。この経験を踏まえ、「自分の身体は自分で守る、仲間の身体はみんなで守る」というスローガンのもと、社員一人ひとりの健康管理の徹底はもとより、就業中でも通院治療がしやすい環境整備など、健康を支える職場づくりを積極的に推進しています。社員の健康が職場の安全・安心につながることはもちろん、退職後の第二の人生においても健康でいられるよう、会社として「健康経営」の体制を整え、社員一人ひとりの健康意識の向上にも取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康を支える職場づくりの第一歩として、まずは自分の身体を知ることが重要と考え、40歳以上の全社員と希望する30代社員に人間ドックを会社負担で実施しています。基本検査に加え、性別に応じた「前立腺がん検査」「乳がん検査」「骨そしょう症検査」、さらに「脳MRI検査」「LOX-index®検査」も実施しています。要精密検査・要治療者には、経営トップより「通院指示書」を発行し、業務時間中の通院を可能にした結果、受診率が大幅に向上しました。また、力を入れて取り組んできた屋内全面禁煙が実現し、福島市から『空気のきれいな施設』として認定されました。毎朝のラジオ体操では、深呼吸が以前より深く大きくなり、より一層リフレッシュできていると感じています。今後も仙台健康支援室と連携し、社員の健康意識向上にも努めてまいります。

当社は、従業員の健康を守るために、
2014年10月1日より
全職場の屋内喫煙禁止
とします。
ご理解とご協力をお願いします。



寿建設株式会社 安全衛生環境委員長

受動喫煙防止



毎朝のラジオ体操

ホームページ

<https://www.kotobuki-c.net/>

株式会社タカヤ

所在地 岩手県盛岡市本宮五丁目5番5号

従業員数 203人

事業内容 総合建設業

(令和6年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は2020年に創業90年の節目を迎えました。

健康づくりに力を入れるきっかけは、健康を害し、仕事を離れざるを得なくなった従業員がいたことです。

健康経営は、経営理念に掲げている『社員の幸せを追求する』にも通ずるものがあり、“従業員が健康であることが社員満足につながる”という考えのもと、会社をあげて、健康診断項目の充実や社内禁煙などに取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

30歳以上の社員を対象に、検査項目の多い人間ドック受診を義務付け、費用を会社で負担しています。さらに、健康診断・人間ドック受診時は、1日の特別休暇を取得できます。

禁煙の推進も行っており、各部署での聞き取り結果等から確認し、非喫煙者には年間6万円の禁煙手当を支給しています。給与明細にも禁煙手当の欄を設け、家族からも後押ししてもらえるようにしました。その結果、全社の喫煙率は20%未満という低い水準を維持しています。

また、健康意識の向上を目的として、健康に関する情報を毎月1テーマ、社内イントラ掲示板で社員に配信しています。

運動にも力を入れており、運動機会を提供するため、施設利用料やスポーツ用品などを会社で負担し、社員が気軽に運動できるようにしています。毎年2回kencomのウォーキングイベントに参加していて、運動習慣のきっかけ作りと持続化を促すことができました。会社周辺清掃活動と組み合わせることで地域貢献にも繋がっています。



当社も協賛「いわて盛岡シティマラソン」



秋田駒ヶ岳登山

ホームページ

<https://takaya-net.jp/>

株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

所在地 宮城県仙台市青葉区花京院2-1-65 いちご花京院ビル13階 **従業員数** 630人

事業内容 高速道路の保全点検業務

(令和7年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社の使命は、高速道路の健全性を維持し、常に最高の状態にしていくことです。この社会的使命を高いレベルで達成するためには、これらを支える社員の健康を保持・増進し、生産性を高めていくことが非常に大切です。

そのため、平成27年から常勤の看護師を配置し、産業医と連携して社員の「心身の健康」をサポートしています。また、健康経営を推進するための体制を整備し、会社全体で健康経営に取り組んでいます。

これらの取り組みが評価され、「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」に5年連続で認定されました。さらに、認定法人のうち上位500法人となる「ブライト500」も昨年に続き2年連続で認定を受けました。

特に力を入れた取り組みとその効果

①当社の健康経営における基本方針・推進体制・具体的な数値目標等を整理した「健康白書」を毎年作成し、健康課題の明確化と取り組みの強化を図っています。今後もPDCAサイクルを回しながら、目標達成に向けて継続的な改善を行っていきます。

②運動習慣率の低さと肥満率の高さという課題に対し、新たな施策として社員が運動の必要性に気づき、行動変容を促すことを目的に、マルチ周波数体組成測定会、健康講話、実技を組み合わせたイベントを全拠点で実施しました。その結果、運動無関心層の約7割に意識の変化が見られ、行動変容が期待される結果となりました。ウォーキングイベントへの参加促進も継続しており、運動習慣率は年々上昇しています。

③喫煙率の低下のために、喫煙に対する意識調査、トップメッセージの発信、喫煙関連の情報提供、外部禁煙プログラムへの参加促進、禁煙支援士による個別支援の継続など、様々な施策を実施しました。その結果、喫煙率は微減しましたが、依然として全国平均を上回っている状況のため、引き続き喫煙対策を推進していきます。

今後も会社と社員が一丸となって、健康経営に取り組んでいきます。

ネクスコ・エンジニアリング東北
健康白書
2025



健康白書を毎年作成しています



健康行動促進イベントの様子

ホームページ

<https://www.e-nexco-engito.co.jp/vision/health/>

林興業株式会社

所在地 福島県いわき市植田町根小屋65番地の1

従業員数 27人

事業内容 建設業

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社が健康経営の必要を感じたきっかけは、社員の高齢化です。貴重な人材を守るためには、一人ひとりの健康意識を高めることが重要であると感じ、経営的視点からも健康づくりを推進している健康経営の考え方と一致しました。経営者と従業員が共に健康づくりに取り組むことは、会社全体の健康知識が高まるだけでなく、コミュニケーションも生まれ、心身の充実や働く意欲に影響し、働きやすい環境づくりにもつながります。社会の状況は刻々と変化しており、労務・健康管理者も頭を抱える場面が多くありますが、健康経営の知識を拠り所としながら、今後の方向性や問題点について考えることが出来ています。建設業界全体が抱えている慢性的な人手不足を乗り越え、未来につなげるためにも、健康経営の考え方を上手に取り入れた健康づくり活動を続けて行きたいと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病予防のため、定期健診時には、より検査項目の多い人間ドックを受診するよう促し、会社が費用補助を行うほか、様々なオプション検査もお勧めしています。健診事後指導の重要性を考えて、就業時間内に保健指導が受けられるよう配慮し、職場環境も整備しました。感染症対策においても、就業時間内に医療機関を受診することを可能としているほか、予防接種後の休暇制度を設けるなどして接種を促しています。なお、社内には検温・消毒を設置して感染拡大防止に努めています。また、健康講話、栄養の啓発ポスター掲示、声掛けなど、日々の健康指導も積極的に行っています。

新たな取り組みの「社内禁煙」では、市の「空気のきれいな施設」の認証を受けることができました。「望まない受動喫煙のない環境づくり」を目指して、ポスターの掲示や配布を始めとした喫煙者へのアプローチも続けていきます。



健康講話で丈夫な体を作る食事を学びました



環境を整備して「空気のきれいな施設」認証

ホームページ

<http://hayashi-kougyou.co.jp>

株式会社復建技術コンサルタント

所在地 宮城県仙台市青葉区錦町一丁目7番25号

従業員数 420人

事業内容 建設コンサルタント

(令和3年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社社長の菅原が就任した際、経営の柱として掲げた三つの方針のうちの一つが「健康経営」でした。何事も体が資本であり、社員にはまず心身ともに健康であって欲しいという思いが込められています。

そして、健康経営優良法人認定に挑戦したのは、その方針実現への取り組みを対外的にも認められるものにしようと考えたからです。

健康経営への取り組みは、特に若い方からの企業イメージアップにつながるのは勿論、社員に対するメッセージでもあります。弊社のような建設コンサルタントは人がすべて。社員の技術力と経験が資産かつ商品だからこそ、健康に留意して欲しい。その思いを発信することが大事だと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

弊社では、定期健康診断でメタボ判定となった社員全員に特定保健指導を受けさせています。これをきっかけに食生活の見直しや自転車通勤に切り替える社員もあり、徐々にではありますが意識が変わってきたようです。また、土健保さんと「ベジチェック」を実施し、社員の野菜摂取不足の自覚を促しました。禁煙対策では、従来から分煙や喫煙時間を設けるなど受動喫煙対策を行っていましたが、2018年からは禁煙外来治療費補助金制度を導入し、2021年に漸く第1号の申請がありました。今後もっと申請者が増えるようPRしています。感染症対策では、土健保さんの協力の下、『手洗いチェッカー』で感染予防の基本である手洗いがきちんと出来ているか確認しました。参加者からは「念入りに洗ったはずなのに意外に汚れている」と驚きの声。改めて手洗いの難しさ・大切さを学びました。長時間労働対策、ワークライフバランス推進では、WLB推進委員会を設置し、研修、工程管理方法の見直し、業務効率化検討、コミュニケーションの活性化などに取り組んでおり、定期的な報告会で好事例を水平展開しております。



手洗いチェック。結構汚れ残ってます。



ベジチェック中。野菜摂れていますか？

ホームページ

<https://www.fgc.jp/csr/employee/index.html>

菱和建设株式会社

所在地 岩手県盛岡市みたけ1-6-30

従業員数 109人

事業内容 総合建設業

(令和6年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営を重要課題として取り組むようになったきっかけは2点あります。

1点目は、社員のことを第一に考え、心身ともに健康的に働ける環境を整えたいという思いからです。建設業全体の課題でもある『建設業従事者の高齢化と担い手育成・確保』の課題に取り組んでいく中で、社員の健康に注目する事が課題解決の一步だと気づきました。ベテラン社員には『1日でも長く』健康に働きながら次世代への技術継承を、働き盛りの世代には健康を維持してパフォーマンスの高い仕事を、若い世代には健康を促進させる職場環境で働く事で、良い生活習慣を身に付けて健康を維持し、長く勤めてもらうことを、と考えました。

2点目は、全国土木国保組合様から、健康経営優良法人の認定がある事を伺い、弊社の取り組みを行っている内容の延長で企業価値を少しでも向上させる事ができればと思ったからです。実際に認定を受けた事で社外に知っていただく機会も増え、学生を対象にした採用活動では、事業内容や福利厚生と併せて『健康経営の取り組み』も弊社の強みとしてPRすることができています。

特に力を入れた取り組みとその効果

社員の労働時間改善に向け、完全週休二日制導入や残業が多い社員への声掛け、有給休暇の推奨、ノー残業デーの設定など、勤怠管理システムを導入して長時間労働対策に努めています。こうした労働意識の改善に取り組んできた結果、生産性を向上させ休みはしっかり取るという社内意識が醸成されました。

また、毎年新入社員への禁煙セミナーや希望者へ禁煙治療全額負担などの禁煙に対する取り組みを行っています。

さらに、運動の推進として、地元マラソン大会参加費用の負担や、社内で野球やサッカーイベント等を開催しています。姿勢の改善やエクササイズの効果への期待から、バランスボールも導入して希望者に椅子の代わりに利用してもらっており、運動が苦手という方にも好評です。

社員のヘルスリテラシー向上のためには、月に一度「健康だより」を作成・発行し、日常生活で手軽に取り入れる事ができる健康づくりの情報発信を行っています。

今後は食育の分野にも力を入れ、ヘルスアップチャレンジ助成金を活用したベジチェック測定を計画中です。野菜摂取量を見える化し、食育情報の提供を行うことで、どのくらい数値が改善されるか試しながら、取り組んでいきたいです。



バランスボールを導入しています！



月1回の
弊社オリジナル健康だより！

株式会社クリエイトセンター

所在地 新潟県新潟市中央区川岸町2丁目8番地1

従業員数 39人

事業内容 建設コンサルタント業

(令和6年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設コンサルタント業を営む我が社は健康に不安を感じ始める40～50代の割合が多くなっています。若手社員も含めて社員一人一人が心身共に健康で長く働けることが会社の健康経営につながると考え、健康意識を高めるために、ヘルスアップチャレンジに参加することにしました。また保険組合から「健康経営優良法人」制度について助言をいただき、認定を受けました。

これをきっかけに会社と社員が一体となって、継続的な取り組みを毎年増やしていこうと考えています。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ・受動喫煙防止対策として社内にあった喫煙室をなくし、リモートルームに改装しました。また、喫煙所は屋外の指定場所に移動したことで、喫煙室前を通ると気になっていたタバコのニオイや壁の汚れが解消されてクリーンな環境が整いました。
- ・健康診断受診率は毎年100%を達成しています。当社では30歳以上の社員は人間ドックを受診可能とし、費用は会社が全額負担しています。人間ドック受診日は特別休暇を付与しています。また、健康診断受診後に再検査や治療が必要な社員には担当者が受診を促します。
- ・インフルエンザ予防接種費用は保険組合の補助額との差額を会社が負担し、感染症予防に努めています。
- ・毎日朝礼時と昼休憩後にラジオ体操を行っています。朝は体をシャキッと目覚めさせ、昼はデスクワークで凝り固まった体をほぐし、眠気予防にもなります。ボタン一つでラジオ体操の音楽が流れるブタの人形を使用して楽しい運動習慣にしています。



喫煙室をリモートルームに改装



ラジオ体操の音楽を流す電池式のブタの人形

ホームページ

<https://www.ngk-center.co.jp/>

清水建設株式会社

所在地 東京都中央区京橋三丁目 16-1

事業内容 総合建設業

従業員数 10,494人

(令和3年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

「人生100年時代」の到来や更なるグローバル化の進行を見据えたとき、人財の多様化とともに、誰もが安心して長期的に活躍できる環境の整備が必要であり、その基盤は、従業員の心身の健康であると考えています。当社は、中期経営計画の重点戦略の一つとして、従業員一人ひとりの働きがいの向上に焦点を当て、KPIとして「働きがい指標」をおき、その指標の一つに「心身の健康」を掲げています。

従業員の健康増進と職場環境の改善といった『健康経営』の実践により、働きがいと幸福度の向上、より活力ある職場を実現するため、2020年9月に健康経営宣言を行い、健康経営について全社的な推進体制を整備することとしました。

加えて、性別に関わりなく仕事と家庭を両立し、健康でいきいきと仕事に取り組めることが当たり前となるような組織風土の醸成に向けて、直近では、男性従業員の育児・家事への参画を推進することにも積極的に取り組んでおり、2022年4月(予定)の男性版産休法制度化に先立ち、今年の10月より男性版産休を制度化し、子の出生後8週間以内に、最大4週間の休業を取得できることとしました。

今後も多様な働き方や生き方を応援する企業として、様々な施策を検討していきます。

特に力を入れた取り組みとその効果

特定保健指導の実施率向上に向けて、リーフレットを活用し、制度周知を図るとともに、申し込みを当社保健師が代行することで手続きを簡素化しています。また、就業時間中の保健指導は労働時間として認めています。結果として、受診率は大幅に改善しています。(健康増進生活習慣病対策)

改正健康増進法で、望まない受動喫煙を防止するための取り組みがルール化され、企業における受動喫煙対策の徹底が求められていることを踏まえ、2021年10月から勤務時間内禁煙をスタートします。また、本社診療所に禁煙外来を設置し、禁煙に向けたサポート体制を整えています。(禁煙対策)

子宮頸がん・乳がんといった女性特有の健康リスクに対応するため、土健保の検査費用補助を補填する形で会社独自の補助制度を設け、ほぼ自己負担無しで毎年検査が受けられる体制を整備しています。(女性特有の健康リスクへの対応)



特定保健指導教宣



禁煙週間教宣

ホームページ

<https://www.shimz.co.jp/company/csr/health/>

東洋ケミカルエンジニアリング株式会社

所在地 東京都港区六本木3丁目18-12

従業員数 160人

事業内容 建設業

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社の社訓には「企業は人とその和なり」とあります。人と人とのつながりを大切にすることが、企業の基盤であると考えております。

そのような中、某生命保険会社の担当の方よりご紹介をいただき、健康経営セミナーに参加し、健康経営の仕組みを知る機会を得ました。社員には「良い職場環境の中で健康に働き、生産性を高めてもらいたい」との思いから、取り組みを始めたことがきっかけです。

社員一人ひとりが、今よりも健康で、今よりも楽しく生活できるように願っております。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、全国平均を大きく上回る喫煙率（約40%）という課題を受け、2024年度より「喫煙対策」を健康経営の重点テーマとし、意識改革と生活習慣の改善を目的とした5か年計画を開始しました。

初年度は、喫煙と健康リスクに関するeラーニングの実施、13～15時の禁煙タイムの試行、車内での禁煙徹底に取り組みました。いずれも強制ではなく自発性を重視し、「10を0にするのではなく、10を8～9にする」段階的な改革として進めています。

取り組みを通じて喫煙に対する意識変化も見られ、非喫煙者からの肯定的な声も寄せられています。効果は2025年9月の再調査で検証予定です。



2024年度の健康経営推進員となります



喫煙所の設置風景

ホームページ

<https://toyochemical.com/1778/>

株式会社ナカノフドー建設

所在地 東京都千代田区九段北4-2-28 NF九段

従業員数 783人

事業内容 総合建設業

(令和7年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営に取り組むきっかけとして、いくつかの重要な理由が重なったことがあげられます。

まず、毎年何名かが在籍中に亡くなる社員や病気によって働けなくなってしまう社員が出てしまい、これをゼロにしたいという強い思いがありました。

次に、前任の社長が喫煙の危険性を強く危惧しており、禁煙対策に強い関心を持っていました。この姿勢が、健康経営の一環として禁煙対策を推進する大きな原動力となりました。

健康経営に取り組むにあたり、社員が健康であれば会社にもメリットがあるという認識が明確に存在しました。健康な職場環境を整えることは、社員一人ひとりの生活の質を向上させ、会社全体の生産性の向上に寄与します。他にも、病欠や医療費の削減、そして社員の満足度やモチベーションの向上など、多くのプラス効果が期待できます。

社員の健康促進は会社にとっても有益で、取り組むことで損をすることは何もないという考えに至りました。これらの理由から、健康経営に取り組むことを決断しました。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康経営の取り組みの中で、特に力を入れたのは①食生活の改善と②禁煙対策です。

食生活の改善については、全社的にベジチェックを用いた測定会を行いました。東京地区では巡回健診の際に土健保から保健師の方を派遣していただいて測定会を実施、東京以外の拠点では測定と併せて野菜に関する講演会を行いました。社員の反応は非常に良く、「翌年の計測に備えて食事に気を付けるようになった」「まずは野菜ジュースを飲むようになった」などの行動変容が確認できる報告も多くありました。今後も全拠点でこの取り組みを継続します。

禁煙対策については、昨年エーテンラボ㈱のサービス「みんなチャレ禁煙」を利用し、プログラム参加者の36.3%(33名)が禁煙に成功しました。また、2025年1月より敷地内禁煙及び就業時間内禁煙となりました。



東京地区ベジチェック実施の様子



2025 年度安全衛生推進大会

ホームページ

<https://www.wave-nakano.co.jp/sustainability/health/>

ファインロードコンサルタント株式会社

所在地 新潟県新潟市西蒲区大潟 2031 番地

従業員数 15 人

事業内容 建設コンサルタント業、測量業

(令和5年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

舗装構造診断、路面調査、測量、各種土質試験、アスファルト試験を営む弊社は、従業員の平均年齢が50歳近いことに加え、主要業務が室内試験及び現場作業という体を動かす仕事メインとなっており、心身の健康を維持することが業務を遂行していくうえで最も大切なことだと思っています。これらのことがきっかけとなり、心身の健康維持を継続するという目的で、健康経営に積極的に取り組むようにしました。

特に力を入れた取り組みとその効果

生活習慣病対策と健康維持のために、定期健康診断を充実させ、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推進を行い、費用補助、特別休暇付与を実施しました。さらに検診で異常が見られた方は再受診を推奨するなど、積極的に恒常的な健康維持の確保に努めました。

また、禁煙日(スワン(吸わん)デー)を設定し、受動喫煙ゼロを目指す雰囲気作りに努めると同時に、適度な運動を行うということを目的に従業員参加型のウォーキングイベントを開催し、健康維持の意識付けを行いました。

さらに、従業員の健康意識を高めるために外部より管理栄養士を招き、従業員の食事のとり方などについて受講させています。

一方、コロナ及びインフルエンザ等のウィルス感染予防対策としては、従業員の毎朝の検温・記録を実施し、手洗いの励行、消毒液の設置などを細かく指導しています。



感染症予防対策 受付に消毒液を設置



組合管理栄養士による講義風景

福田道路株式会社

所在地 新潟市中央区川岸町1丁目53番地1

従業員数 734人

事業内容 建設業（舗装工事業）

（令和4年6月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

「人生100年時代」にあっては、企業人生における健康維持はもちろんのこと、その後の健康寿命延伸を現役時代から意識づけることで「人生設計」をアシストできます。従業員の健康管理は職員自身とその家族にとって、極めて重要な項目である一方、会社としても組織の総合力発揮に深くかわり、かつ経営的観点からも極めて重要との判断から、中期経営方針に「健康経営」を盛り込み、担い手不足が深刻化する建設業界において、従業員が生き生きと元気に働ける快適な職場づくりを目指しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康管理や健康増進支援のための「FRCヘルスサポート2020」と称した取り組みを実施しています。

就業時間内完全禁煙の全事業所実施や、ほぼ全社員が参加するウォーキングイベントの開催、人間ドックの受診推奨と会社費用補助や対象年齢の大幅拡大、有所見者に対する再受診勧奨等を実施しています。

また、時間外労働の削減に向けては、振替休日の事前申請による休日出勤許可制等の徹底により、完全週休二日を実施し、勤怠管理の面からも職員の健康に配慮しています。



01 「FRCヘルスサポート2020」の取り組みについて

健康経営の推進と健康増進支援のための「FRCヘルスサポート2020」と称した取り組みを実施しています。

就業時間内完全禁煙の全事業所実施や、ほぼ全社員が参加するウォーキングイベントの開催、人間ドックの受診推奨と会社費用補助や対象年齢の大幅拡大、有所見者に対する再受診勧奨等を実施しています。

また、時間外労働の削減に向けては、振替休日の事前申請による休日出勤許可制等の徹底により、完全週休二日を実施し、勤怠管理の面からも職員の健康に配慮しています。

人間ドックの受診費用補助拡大	がん検診費用等の補助拡大
45歳以上 20,000円	45歳以上 3,000円
20歳以上 2,000円	20歳以上 2,000円
30歳以上 4,000円	30歳以上 4,000円

人間ドック推奨を社内報でも告知



2日も！ 12日も！

22 禁煙の日

2のつく日は

スワン（吸わん）デー

Direction for Relation
福田道路株式会社

禁煙開始のきっかけを社内で啓発しています

ホームページ

<https://www.fukudaroad.co.jp/news/5099/>

フクダハウジング株式会社

所在地 新潟県新潟市中央区関新3丁目2番4号

従業員数 98人

事業内容 建設業

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

全国土木建築国民健康保険組合より健康経営に関する情報をご提供いただいたことがきっかけでした。当社の年代別構成比は40代以上が過半数を占めています。40代以上のベテラン社員が、自身の健康問題で休業・退職することがないように、また、今後を担う30代以下の若手社員の疾病を早期に防ぐために、健康経営への取組が必要であると考えました。

当社のこれまでの健康経営の実績としましては、全国土木建築国民健康保険組合の「ヘルスアップチャレンジ宣言」に始まり、「新潟市健康経営認定制度ゴールドクラス認定」、「にいがた健康経営推進企業登録」、そして2023年度より「健康経営優良法人(中小規模法人部門)」を取得しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

社員の健康管理について、35歳以上の社員には人間ドックの受診を推奨しています。健診の結果に基づき、精密検査が必要な社員には個別に声がけをして医療機関受診を促しています。2025年には、35歳以上の社員で、過去2年間連続で精密検査と保健指導を受けた社員の数値改善(正常値)が見られました。

2024年度より、屋外に設置していた喫煙室を廃止して敷地内全面禁煙としました。これにより、会社敷地内において、非喫煙者の受動喫煙リスクがなくなりました。

社員の健康を考える上で、長時間労働の改善を優先課題として考えています。会社全体で業務の見直しを行うとともに、早朝と夜間の社屋施錠時間を制定して、残業時間を制限しています。



屋外に設置していた喫煙室を廃止し、現在は倉庫として使用しています。



夜間は原則『20時30分全員退出』を社内ルールとしています。

丸善土木株式会社

所在地 長野県松本市南原二丁目20番4号

従業員数 19人

事業内容 土木・舗装工事

(令和7年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

健康経営への取り組みを強化することになったきっかけは、従業員の有所見率の高さでした。疾病の改善や健康保持について、全国土木建築国民健康保険組合の東京健康支援室に相談させていただき活動してまいりました。働きがいのある職場づくりと従業員の家族の健康にも力を入れるため、毎年様々な提案をいただきながらブラッシュアップしています。

2021年度からは『こころの健康づくり』の取り組みとしてストレスチェックを実施しています。2024年度からは『健康増進』の中でも特に熱中症対策を重点課題にしようとの事で、屋外屋内どこでも使用可能な冷却プレートを搭載した首掛け扇風機を配布しました。

特に力を入れた取り組みとその効果

- ① 定期健康診断受診率100%の徹底に加え、30歳以上の従業員は人間ドックに変更した。(各種補助制度の説明を行い「女性特有の健診等」オプション追加も可能)
- ② 健康増進として、2024年度は熱中症対策で「ネックファン」を配布 ※ヘルスアップチャレンジ助成金を活用
- ③ 食生活の改善として2022年度に「塩分計」を配布
- ④ 運動の推進として2020年度にバランスボールを配布、「歩活」への参加
- ⑤ 感染症対策として2021年度には「マスク・アルコール消毒液」の配布や各工事現場へのアルコール消毒液の設置
- ⑥ こころの健康づくりとして2021年度からストレスチェックを実施し、2023年度は睡眠モニター機能付きスマートウォッチを配布
- ⑦ 社内インターネットを利用し、どけんぽ保健師・管理栄養士作成の動画配信や東京健康支援室発行の「けんこう通信」の配信
- ⑧ 禁煙対策として屋外喫煙所の設置



冷却プレート
搭載式首掛け
扇風機



使用風景

ホームページ

<http://www.maruzendoboku.co.jp>

株式会社オクミカワ

所在地 愛知県北設楽郡設楽町清崎字水口5番地2

従業員数 13人

事業内容 建設業（舗装工事業）

（令和7年7月末現在）

健康経営に取り組むようになったきっかけ

過疎化が進む地域で、従業員の高齢化が進み人材不足が続いている状況です。健康経営に取り組むことで、「従業員が安心して働け、地域社会に貢献、生産性が向上、離職率の低下、求人活動で有利になる」を期待しています。

当社の企業理念は【明るく、まじめに、一生懸命】【①明るく：従業員も家族も健康で、明るく、仲良く ②まじめに：嘘をつかない、真心があり、誠実で地域社会に貢献する ③一生懸命：全力をあげて会社の発展・継続に力を尽くす】です。

家族・地域社会・会社のために働くには、まずは「健康な体があつてこそ」名古屋健康支援室のヘルスアップチャレンジに参加して、指導を頂きながら健康経営に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

1. 生活習慣病対策と女性の健康保持増進については定期健康診断の充実で、人間ドック、がん検診、婦人科検診の推奨を行い、費用補助及び特別休暇付与を実施しました。検診で「所見あり」の方は再受診を実施してもらい、体の異常の早期発見、治療を行ってもらいました。
2. ウォーキングチャレンジで、春・秋に1ヶ月間の累計歩数を社内で競争し運動の推進、**事務所内禁煙**、**感染症対策**で事務所机上に飛沫防止パネルの設置、夏季の現場作業時に空調服・グッズを支給して熱中症対策、週休2日の徹底（休日出勤者には振休取得の徹底）・残業時間管理による長時間労働の抑制等を行い、健康経営に取り組んでいます。



毎日の朝礼時のラジオ体操



感染症予防対策

ホームページ

<https://www.okumikawa.co.jp>

坂川建設株式会社

所在地 福井県福井市宝永3丁目3番24号

従業員数 95人

事業内容 総合建設業

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社は総合建設業を営んでおり2025年で創業115年を迎えます。近年の公共工事の入札制度により実績のある技術者を工事に専任させる事を求められ、当社は継続雇用を67歳に延長をするようになりました。これによりいままで退職していたはずの60歳以上の社員で病気を患う者が発生してきました。

そこで社員の健康問題をできるだけ発生させないために、2016年度より従来の無事故運動とは別に、健康経営、メンタルヘルス対策などにも取り組むようになりました。2016年に就任した現社長が、以前から健康経営に興味を持っていたところ、医療保険者である全国土木建築国民健康保険組合の協力を得て健康宣言事業を開始しました。

特に力を入れた取り組みとその効果

ISOの経営方針に、「健康と安全はすべてに優先する」と明記することにより、健康に関する活動をシステムの一部とし、経営者や従業員が取り組みやすい環境づくりを行いました。

①健康維持・治療の強化

- 春季に定期健康診断、秋季に40歳以上の社員に対し1日人間ドックの受診
- 年2回行われる社員勉強会で食生活の改善・オーラルヘルス・禁煙対策を教育、毎月メールで食事改善方法等を配信
- 各事業所(現場)に設置する自動販売機は、低糖等の健康に考慮した飲料水を設置し、糖分やカロリー等を表示したポスターを掲示

②健康増進

- 全社員に万歩計を支給し、毎日8,000歩を16日間以上、合計180,000歩以上歩いた場合、もしくはスポーツジム毎週3回以上利用した者に対し毎月3,000円を支給
- 上記の運動を3ヶ月続けた者に対し、健康食材を支給
- 社員個人が1日8,000歩を達成するたびに、会社は個人とは別に100円を積み立てし、社会福祉団体に寄付を行います。昨年度は福井県共同募金会に926,000円寄付を実施
- 健康活動を行った結果、少しずつ変化が見えてきました。
 - ①定期健康診断、メンタルヘルスチェック、40歳以上の人間ドックの受診率100%
 - ②年2回行う病院での診断により病気が早期発見され、1週間程度の休業で済んでいます。
 - ③健康診断の結果によりですが、保健指導を年2回受ける人もおり健康への意識向上を図っています。



食育教育で実食をしながらの講習



自動販売機に
カロリー表示の
ポスターを掲示

ホームページ

<https://sakagawa-kk.jp/>

株式会社奥村組

所在地 大阪府大阪市阿倍野区松崎町2-2-2

従業員数 2,419人

事業内容 総合建設業

(令和7年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、「社員一人ひとりが心身ともに健康であること」を念頭に、職場で働く全ての社員が元気にいきいきと働ける環境を整備すべく、2021年10月に社長を健康管理最高責任者(CHO)とする「健康経営推進体制」を構築のうえ、全社に向けて「健康経営宣言」を発信しました。

また、当社の長期ビジョン「2030年に向けたビジョン」の一つとして「人を活かし、人を大切に、社員が誇れる企業へ」を掲げており、これらを実現するためにも、健康経営を推進し「従業員幸福度」を向上させることが大切だと考え、様々な健康経営施策に取り組んでいます。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社では、役職員の健康増進のために、自発的に健康的な行動をとった役職員にポイントを付与し、貯まったポイントは商品に交換できる健康ポイントシステムを導入しています。「1日6000歩達成」「毎日朝食を食べる」「睡眠6時間以上」などに対してポイントを付与、毎日の生活習慣の中で健康への意識が向上することを目指しています。

また、人間ドック受診時の会社補助を拡充し、補助対象年齢を30歳に引き下げ、オプション検査項目に脳ドックの追加等を行った結果、多くの役職員が利用しています。

加えて健康保持のための施策として社長による「禁煙宣言」を昨年5月に全役職員に向け発信し、本年1月1日より「就業時間中の禁煙」と「全常設事務所の喫煙所の廃止」をスタートしました。一人でも多く禁煙に成功できるよう禁煙プログラムの実施や毎月の禁煙に関する情報発信等の禁煙施策に取り組んでいます。

禁煙宣言



おくむらニコ卒 JOURNAL



ホームページ

https://www.okumuragumi.co.jp/environment/diversity/health_management/

株式会社銭高組

所在地 大阪市西区西本町2丁目2番4号

事業内容 総合建設業

従業員数 902人

(令和6年3月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

当社では、社員が心身ともに健康であり、社員の心理的安全性が確保されていることが、新たなアイデアの発想、ならびに仕事に対するモチベーション向上に深く関わっていると考えています。

より働きやすい環境を目指すべく、「会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指して、銭高組に関わる全ての人々が安心して活躍できる職場環境を確立していくこと」を念頭に、2023年9月に社長を「健康経営推進責任者」とする「健康経営推進体制」を構築のうえ、全社に向けて「健康経営宣言」を発信しました。

新たな取り組みでは、年齢やジェンダーに関わらず、他者を理解するための土台作りとして、2023年よりヘルスリテラシー等に関するeラーニング教育の実施を始めました。

今後も会社として健康経営と向き合い、健康経営優良法人認定取得をゴールではなくスタート地点と捉え、さらなる職場環境の改善に取り組めます。

特に力を入れた取り組みとその効果

社員の互助会のサービスの一部として、「健康に特化したカタログギフトの配布」ならびに「禁煙外来治療の費用補助」を取り入れました。禁煙外来治療については、費用がかさむことから受診をためらいがちですが、上限10,000円の補助金を出すことで通院のハードルを下げ、喫煙率の低下を図っています。

また、イントラネットへの健康情報の掲載を継続して行っています。「寒暖差疲労の予防法」「食中毒対策」など、季節に合わせた情報の発信を行っています。

これら様々な取り組みを行った結果、昨年に引き続き「健康経営優良法人2025(大規模法人部門)」に認定されました。



健康に特化したカタログギフト



イントラネットへ掲載している健康情報

株式会社西日本科学技術研究所

所在地 高知県高知市若松町9番30号

従業員数 34人

事業内容 建設コンサルタント

(令和7年4月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

弊社の企業理念は「地球規模で考え、自分の地域（持ち場）で行動する」です。所員一人一人が自分の力を十分に発揮するには健康が一番です。創業50年前から社員もその家族も健康にいられるよう変わらぬ方針を続けております。

社員の健康診断には、「忙しいから」を理由に受診をしない方がいないように社内で協力し全員が受診をしております。健康であることが活力向上につながり、笑顔で挨拶ができ、それが社会人としても企業人としても成長につながり、会社の発展へと繋がっていくと思います。

特に力を入れた取り組みとその効果

創業時に植えた楠（県の木）も今では社屋が見えないくらい大きく育っています。少し贅沢ですが、この庭があることによって季節感を肌で感じ五感も十分に働かせる一つと思います。春は鳥のさえずり、夏ならセミの声と一緒に仕事をしています。

当社は自然と環境を大切にする企業です。そのため、喫煙対策には創業時から特に力を入れております。室内禁煙はもちろんのこと外での歩きタバコも禁止しております。現在の喫煙率は5%となっています。

また、各部署間でのコミュニケーションを高め、風通しの良い明るい職場を目指しております。月初めの朝礼時に全員でラジオ体操を行い、お互いの健康の声かけをしています。4月には防災を兼ねた徒歩通勤を行い、前年度との時間を比べ自身の体力がどう変化しているのか気づき、運動の取り組みを促進するきっかけに役立っています。2025年6月からは、健康講話で実施した「いきいき健康体操」を取り入れていきます。

いつまでも元気に、安心・安全に生活を送れますように。



朝礼でのラジオ体操風景



ポスター掲示風景

ホームページ

<https://www.ule.co.jp/company/initiatives>

大西工業株式会社

所在地 佐賀県唐津市新興町25番地

従業員数 52人

事業内容 建設業 管工事

(令和7年6月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

2019年、佐賀県と唐津市が健康経営に関する事業を始める際に、協力企業として声を掛けて頂いてから健康経営に取り組むようになりました。

最初は何もわからず、行政からのアドバイスを頼りに活動していましたが、取り組みを継続していく中で健康経営がもたらす会社への好影響は計り知れないと実感しています。

例えば、以下の3点があげられます。

- ①求人活動において、社員の安全と健康を第一に考えて経営していることをアピールできるため、採用希望者から安心して働けると好評価を得ています。
- ②ボランティア活動や社員旅行などの社内行事を通じて社員間のコミュニケーションが良好なため、チームの活性化と共に従業員の定着に貢献しています。
- ③就業時間内の通院や再検査を認めるなど、会社の取組が社員一人一人に浸透してきているため、健康に対する意識の向上がみられます。

2020年8月には、この活動が評価され、佐賀県知事から「第2回佐賀さいこう表彰(健康経営部門)」を受賞しました。

特に力を入れた取り組みとその効果

当社の課題はBMI 25以上の肥満者が多いことと喫煙率の高さです。

そのため、運動の取組みと受動喫煙防止対策に力を入れています。

運動の推進については、2019年に個人の運動実績を見える化することからスタートし、2021年8月にはスポーツジムと法人契約をして、運動しやすい環境を整えました。

受動喫煙防止対策としては、禁煙への関心を高める目的で毎週水曜日を「減煙Day」として20%減煙する日に設定して取組を開始しました。

さらに、受動喫煙が発生していた屋根・灰皿・椅子がある居心地の良い屋外喫煙所から灰皿と椅子を撤去し、喫煙場所を屋根のない「喫煙可能場所」に移動しました。加えて、地面に足型をペイントして同時喫煙者の人数制限、タバココミュニケーションの制限及び携帯マイ灰皿の持参をルールとしました。

2023年4月からは毎月の手当として「健康増進手当(10,000円)」を新設しました。対象者は、非喫煙者及び禁煙宣言し継続できている者とし、新たに3名が禁煙に成功しました。

社長から社員に向け「当社は禁煙対策に取り組む」ことを発信しており、社用車内も禁煙とするなど会社としてたばこを吸いにくい職場環境を作り喫煙率低下をめざしています。



屋外喫煙所
ビフォーアフター

喫煙可能場所
定員3名、
足形を壁に向け設置



ホームページ

<https://onishi-kougyou.co.jp/benefits/>

杉山建設株式会社

所在地 熊本市東区御領二丁目 14 番 64 号

事業内容 建設業

従業員数 15 人

(令和3年8月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

建設現場では、喫煙しながらコミュニケーションをはかるのが一般的と捉えている方が多いためか喫煙率が高い。そのためか高血圧や脳梗塞などの生活習慣病にかかる従業員が多かった。

また、健康への意識が低く、定期的な健康診断の受診も従業員全員は難しい環境だったため、まず、健康診断の受診率を100パーセントにすることから始めたいと考えた。

従業員の健康維持に向けての意識改革・健康増進（定期健康診断の受診）、生活習慣病対策（禁煙・糖分の過剰摂取の抑制）、感染症対策に取り組むようになった。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康増進を図るため、健康診断の受診率を100%にした。その健康診断結果に基づいてどけんぼの保健師・管理栄養士による保健指導も実施している。また、飲料に含まれる糖分の取り過ぎを防止するため、社内の自動販売機を撤去し、「水・お茶」などの糖分を含まない飲料を常備し、配布している。そのため、体重の大幅な増加は見られない。

禁煙対策のため屋内は禁煙とし、喫煙所を屋外に設置したところ、これまでは作業をしながら煙草を吸っていたが、作業を中断し喫煙をしなければならなくなったため、喫煙本数が減った人や禁煙に成功した人が数名みられている。

感染症対策のため、玄関、トイレなどにアルコールの設置、手洗いうがいを推奨するためのポスターを掲示した。昨年度及び今年度の感染症罹患者はいない。



社内冷蔵庫に常備している水・お茶



助成金を利用し購入した加湿空気清浄機

ホームページ

<https://ameblo.jp/sugiyama-corp/entry-12695433702.html>